資料4.　自治医科大学さいたま医療センター専門研修連携施設群

**自治医科大学さいたま医療センター産婦人科研修施設群研修施設**

**各研修病院における手術件数と分娩数（平成26年1月～12月）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **病院** | **総手術件数** | **婦人科手術** | **子宮内容除去術** | **腹腔鏡下手術** | **分娩数** | **帝切術** |
| **自治医大さいたま医療センター**  **基幹施設** | 712 | 516 | 33 | 287 | 409 | 196 |
| **かしわざき産婦人科**  **連携施設**  **型** | 180 | 72 | 144 | 70 | 444 | 108 |
| **医療生協 埼玉協同病院** | 275 | 178 | 114 | 3 | 452 | 94 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |

**各教育研修病院における研修体制**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **病院** | **生殖内分泌** | **婦人科腫瘍** | **周産期** | **女性のヘルスケア** |
| **自治医大さいたま医療センター** | **〇** | **◎** | **◎** | **○** |
| **かしわざき産婦人科** | **◎** | **△** | **○** | **○** |
| **医療生協　埼玉協同病院** | **△** | **○** | **◎** | **◎** |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

各研修病院での専攻医指導に関する研修可能性を4段階(◎、○、△、×)に評価した。

＊共済病院は婦人科悪性腫瘍の終末期における緩和ケアには高度な技術と豊富な経験を持つ

**1) 基幹施設**

自治医科大学さいたま医療センター

|  |  |
| --- | --- |
| 指導責任者 | 今野　良 【メッセージ】 　自治医科大学附属さいたま医療センターのセールスポイントは、1) 周産期医療と婦人科がん診療においては症例の豊富さ、2) 手術など技術の指導に熱心な指導体制、3) エビデンスを作るための臨床試験や治験への参加が多く、自然にEBMを身につけられる環境、である。後期研修4年目の秋に産婦人科専門医を取得することができ、さらに希望があればサブスペシャルティの周産期(母体・胎児)専門医、婦人科腫瘍専門医取得のための研修に移行できる。また、大学院進学も積極的に支援している。 |
| 指導医数 | 10名（日本産科婦人科学会専門医10名、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医2名、日本臨床細胞学会細胞診専門医1名、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医4名、日本内視鏡外科学会技術認定医1名、日本がん治療認定医機構認定医3名、日本生殖医学会生殖医療専門医1名、日本周産期・新生児医学会 周産期(母体・胎児)指導医1名、NCPRインストラクター1名） |
| 外来患者数 | 外来患者　1700名（1ヶ月平均）　婦人科：1100名、産科：600名 |
| 入院患者数 | 1090名（1ヶ月平均）　婦人科：410名、産科：680名 |
| 手術件数 | 約57件/月(婦人科40件 産科17件)  約700件/年(婦人科500件　産科200件) |
| 分娩件数 | 約　33件/月　　約400件/年 |
| 経験できる疾患 | ほとんどすべての産婦人科疾患を経験することができます。 |
| 経験できる手技 | 1）婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腟細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査  2）不妊（症）検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査（通気、通水、通色素、子宮卵管造影）、精液検査、子宮鏡、腹腔鏡、子宮内膜検査、月経血培養  3）癌の検査・・・子宮腟部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、組織診、子宮鏡、RI検査、CT、MRI、腫瘍マーカー測定  4）絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定（絨毛性ゴナドトロピンその他）、胸部X線検査、超音波診断、骨盤動脈造影  5）感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査（梅毒血清学的検査、HBs抗原検査、HCV抗体検査、HTLV-I検査、HIV検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌DNA、クラミジアDNA・抗体検査など）、血液像、生化学的検査  6）放射線学的検査・・・骨盤計測（入口面撮影、側面撮影）、子宮卵管造影、腎盂膀胱造影、リンパ管造影、シンチグラフィー、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、RI検査  7）内視鏡検査・・・コルポスコピー、子宮鏡、腹腔鏡、直腸鏡  8）妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査（ドップラー法、断層法）  9）生化学的・免疫学的検査  10）超音波検査・・・ドップラー法：胎児心拍聴取、断層法：骨盤腔内腫瘤（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他）、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胞状奇胎、胎盤付着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドップラー法  11）出生前診断・・・羊水検査、胎児well-being診断、胎児形態異常診断  12）分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析 |

|  |  |
| --- | --- |
| 経験できる手術（術者） | 婦人科：腹式単純子宮全摘出術、腟式単純子宮全摘出術、開腹・腹腔鏡下子宮筋腫核出術、子宮腟部円錐切除術、子宮頸管形成術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、開腹・腹腔鏡下付属器摘出術、開腹・腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術（切除術）、開腹・腹腔鏡下卵管避妊手術、Bartholin腺手術、陳旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水穿刺術、腹水穿刺術、皮膚腫瘤生検術、開腹・腹腔鏡下異所性妊娠手術、子宮卵巣悪性腫瘍手術  産科：会陰切開・縫合術、吸引遂娩術、鉗子遂娩術、骨盤位牽出術、腹式帝王切開術、子宮内容除去術、子宮頸管縫縮術・抜環術、妊娠合併卵巣腫瘍核出術（切除術）、産褥会陰血腫除去術、羊水穿刺術 |
| 経験できる手術（助手） | 婦人科：広汎子宮全摘出術、準広汎（拡大単純）子宮全摘出術、後腹膜リンパ節郭清、卵巣癌根治手術、子宮鏡下手術、腹腔鏡下悪性腫瘍手術、外陰切除術  産科：子宮動脈塞栓術 |
| 学会認定施設 | 日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修認定施設 日本臨床腫瘍学会専門医制度研修認定施設 日本臨床細胞学会研修認定施設 NPO婦人科悪性腫瘍化学療法共同研究機構認定施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設  日本婦人科腫瘍学会研修認定施設  日本産科婦人科内視鏡学会研修認定施設 |

**2) 連携施設**

1.　かしわざき産婦人科

|  |  |
| --- | --- |
| 指導責任者 | 柏崎祐士 【初期研修医へのメッセージ】 一般市中産婦人科医院として産科、婦人科の豊富な症例を経験できます。腹腔鏡下手術も行っている以外に最先端レベルの不妊治療を誇っており、常勤医とともに積極的にそれらの診療に参加できます。 |
| 指導医数 | 4名（日本産科婦人科学会専門医4名、日本生殖医学会生殖医療専門医1名） |
| 外来・入院　患者数 | 外来患者　（産科1660　、婦人科840　）名（1ヶ月平均） 入院患者 （産科300 、婦人科60 ）名（1ヶ月平均） |
| 手術件数 | 約15件/月（産科9　件、婦人科6　件） |
| ART件数 | 約320件/月 (体外受精　顕微授精　胚移植を含む) |
| 分娩件数 | 約37件/月 |
| 経験できる疾患 | 産科、婦人科、生殖医療の各部門における疾患 |
| 経験できる手技 | 産科：妊娠診断、妊婦健診、切迫早産等妊娠経過異常に対する管理、分娩管理、分娩処置（正常・吸引・鉗子・骨盤位・帝王切開分娩、会陰切開縫合等）、新生児の診察、産褥管理 婦人科：一般外来診療・・・内診・直腸診・穿刺診・検体検査・内視鏡検査・画像診断等による各種疾患の診断、投薬・小手術等による治療／入院治療・・・手術患者の手術及び周術期管理、感染性疾患や悪性腫瘍患者の全身管理 生殖医療：不妊外来・・・基礎体温表の診断・各種ホルモン検査・精液検査・卵管検査等による診断、治療方針の立案と排卵誘発や人工授精・体外受精・顕微授精等実際の治療／入院治療・・・体外受精・顕微授精における採卵、精液処理、胚培養、胚移植、胚凍結保存・融解等 |
| 経験できる手術 | 産科：帝王切開術、人工妊娠中絶術、卵管避妊手術 婦人科：腹式単純子宮全摘出術、腟式単純子宮全摘出術、子宮筋腫核出術、付属器摘出術、卵巣腫瘍核出術（切除術）、腹腔鏡下手術(子宮摘出術、子宮筋腫核出術、附属器摘出術、卵巣腫瘍核出術・切除術 生殖医療：腹腔鏡検査、腹腔鏡下癒着剥離術、腟式卵巣嚢胞内容液吸引除去術 |
| 学会認定施設 | 日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設 |

2. 医療生協さいたま生活協同組合　埼玉協同病院

|  |  |
| --- | --- |
| 指導責任者 | 芳賀　厚子 【メッセージ】 　当院は埼玉県南部に位置し、一般市中産婦人科医院として産科、婦人科の豊富な症例を経験できます。  ＜周産期＞  当院は特に周産期医療に力を注いでおり、多数の周産期管理、分娩を経験出来ます。総合病院であるため、内科や精神疾患を合併した妊娠管理も多く、産科管理の力量向上が可能です。妊娠管理の中で妊娠糖尿病などの合併症が診断されることもあり、妊娠期間だけでなく分娩後の健康管理まで見通した医療を身につけることができます。  また社会的、経済的に困難を抱えた妊婦の診療も多く、保健センターなど地域の機関と連携し、育児のフォローアップまで責任を持った管理を心がけています。  ＜婦人科腫瘍＞  婦人科領域では良性疾患を中心に診療を行っています。腹腔鏡手術も手掛けており卵巣や子宮の良性疾患に対する幅広い手術を行なっております。また悪性腫瘍についても、癌検診や出血・腹痛などの症状から疾患の診断を行い、高次医療機関への紹介の必要性などを判断する力がつきます。緩和ケア病棟も有り、病院として在宅医療にも取り組んでいるため、終末期の患者を緩和ケアや在宅につなぐことができます。  ＜ヘルスケア＞  婦人科一般外来も行なっており、思春期、更年期、一般不妊治療などの産婦人科プライマリ・ケア診療も研修可能です。ライフステージに合わせた治療の選択をアドバイスするなど、地域の中で女性の人生に寄り添った産婦人科医療を経験できます。  また病院として年間3000件を超す救急患者の搬入があり、その中には婦人科の緊急入院や手術を要する患者も含まれています。腹痛などの患者を他科と連携しながら診断、治療につなげる力をつけることができます。  産婦人科医全てが一生高次医療機関で診療を続ける訳ではありません。地域の医療も経験することで一次～三次医療の連携とそれぞれの果たすべき役割が見えてくるはずです。その中で産婦人科医療に求められているものを考え、ご自分が将来どのような産婦人科医師となりたいのかを探っていく上で役立つ研修を提供したいと思います。 |
| 指導医数 | 5名(日本産科婦人科学会専門医5名） |
| 外来・入院　患者数 | 外来患者　のべ約2000名（うち妊婦健診約350名）/月  入院患者　実数約80名/月 |
| 手術件数 | 約25件/月（婦人科15～20　件、産科5～10件）　年間合計約300件 |
| 分娩件数 | 約　40～50件/月　年間約500件 |
| 経験できる疾患 | 進行癌などの悪性腫瘍症例や高度生殖医療を必要とする不妊症例を除いて、通常日常診療で遭遇するほとんど全ての産婦人科疾患に対する診療を経験することができます。 |
| 経験できる手技 | 1)婦人科内分泌検査・・・基礎体温測定、腟細胞診、頸管粘液検査、ホルモン負荷テスト、各種ホルモン測定、子宮内膜検査  2)不妊（症）検査・・・基礎体温測定、卵管疎通性検査（通水、通色素、子宮卵管造影）  3)癌の検査・・・子宮腟部・頸部・内膜をはじめとする細胞診、コルポスコピー、組織診、CT、MRI、腫瘍マーカー測定 4)絨毛性疾患検査・・・基礎体温測定、ホルモン測定（絨毛性ゴナドトロピンその他）、胸部X線検査、超音波診断  5)感染症の検査・・・一般細菌、原虫、真菌検査、免疫学的検査（梅毒血清学的検査、HBs抗原検査、HCV抗体検査、HTLV-I検査、HIV検査、風疹抗体、トキソプラズマ抗体、淋菌DNA、クラミジアDNA・抗体検査など）、血液像、生化学的検査 6)放射線学的検査・・・骨盤計測（入口面撮影、側面撮影）、子宮卵管造影、腎盂膀胱造影、骨・トルコ鞍・胸部・腹部単純撮影法、CT、MRI、RI検査 7)内視鏡検査・・・コルポスコピー、腹腔鏡下観察 8)妊娠の診断・・・免疫学的妊娠反応、超音波検査（ドップラー法、断層法）  9)生化学的・免疫学的検査 10)超音波検査・・・ドップラー法：胎児心拍聴取、断層法：骨盤腔内腫瘤（子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣腫瘍その他）、胎嚢、胎児頭殿長、児頭大横径、胞状奇胎、胎盤付着部位、多胎妊娠、胎児発育、胎児形態異常の診断、子宮頸管長、Biophysical Profile Score (BPS)、Amniotic Fluid Index (AFI)、血流ドップラー法 11)出生前診断・・・胎児well-being診断、胎児形態異常診断  12)分娩監視法・・・陣痛計測、胎児心拍数計測、血液ガス分析 |
|
| 経験できる手術 | 婦人科：腹式単純子宮全摘出術、腟式単純子宮全摘出術、開腹子宮筋腫核出術、子宮腟部円錐切除術、頸管ポリープ切除術、子宮脱手術、付属器摘出術、開腹・腹腔鏡下卵巣腫瘍核出術（切除術）、異所性妊娠手術、開腹・腹腔鏡下卵管避妊手術、Bartholin腺手術、陳旧性会陰裂傷形成術、腹腔鏡下腹腔内観察、胸水腹水穿刺術  産科：流産手術、吸引分娩術、帝王切開術、外陰・腟血腫除去術、頚管裂傷縫合術、腟会陰裂傷縫合術 |
| 学会認定施設 | 日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設 日本がん治療認定医機構認定研修施設  日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設  日本臨床細胞学会認定施設  日本輸血細胞治療学会認定医制度指定施設 |